



第8回 木育サミット

2021年2月・毎週土曜日 13:00~

■ 今年はオンラインでの開催となります ■

参加申込は

参加ご希望の方は下記URL、もしくはQRコードよりお申し込みください。



参加費無料

<https://business.form-mailer.jp/fms/6793fa3194444>

開催の数日前までにZoomミーティングURLをお知らせいたします。

木育サミット 検索

昨年の開催プログラムを掲載しています。

お問い合わせ：認定NPO法人芸術と遊び創造協会 tel:03-5367-9601 fax:03-5367-9602 Email:mokuiku@art-play.or.jp

主催：認定NPO法人芸術と遊び創造協会 / 東京おもちゃ美術館 後援：一般財団法人 地域活性化センター・公益財団法人 森林文化協会・日本木材青年団体連合会・一般社団法人 全国木材組合連合会・東京原木協同組合・東京木材問屋協同組合・東京木場製材協同組合・東京木材市場株式会社・国際木文化学会・日本木文化学会

◆ スケジュール & プログラム 2月:毎週土曜日13:00～

2021年2月1日～28日 期間中、いつでも視聴可能

特別対談 本郷 浩二 (林野庁長官) × 多田 千尋 (東京おもちゃ美術館 館長)
「木育のこれからとウッド・チェンジ」

森林や林業の実態、将来のあるべき姿は、一般消費者にはなかなか理解しにくいもの。しかし、それも「木育」というフィルターを通して、身近に感じたり、小さなアクションを起すきっかけになるかもしれません。そこで本企画では、日本の森林の未来のために、私たちは何を考え何をすべきなのか、東京おもちゃ美術館館長の多田が、本郷 林野庁長官を直撃し、明日からの木育のヒントを探ります。

2月6日(土) 13:00～14:30

企画① くらしに根づく「当たり前」の木育

2月13日(土) 13:00～14:30

企画② 持続可能な社会にむけて、次世代をはぐくむ
 ～木育×SDGs推進における各地域の実践～

2月20日(土) 13:00～14:30

企画③ 子どもを中心に木育を考える ～コミュニティにおける木育の役割～

2月27日(土)

13:00～15:00 企画④ デザイン視点で考える木育普及の可能性
 15:30～16:30 企画⑤ 「儲かる」木育
 ～「花巻おもちゃ美術館」の挑戦～

2/6

企画① 13:00～14:30

くらしに根づく「当たり前」の木育

「あたりまえ」なものにほどこだわりたい。家、インテリア、旅、日用品、食べる、穿るetc…。日々のくらしにある、あらゆるモノやコトにこだわって時代がいきまわられています。今回は、その「あたりまえ」のくらしの中から、『食』にフォーカスした木育をお届けいたします。身近なところから木育を取り入れ、こだわりのもって毎日を過ごしてみます。そんなちょっと前のめりな木育アンバサダーに皆さんもなってみませんか？

青野 裕介 (株式会社Tree to Green)
 佐々木 一弘 (オークグレイズ株式会社)
 長谷川 泰治 (株式会社東谷川廣治商店)
 谷地 麗 (有限会社谷地林業)



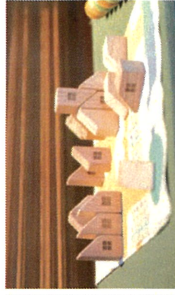
2/13

企画② 13:00～14:30

持続可能な社会にむけて、次世代をはぐくむ
 ～木育×SDGs推進における各地域の実践～

SDGs (Sustainable Development Goals 「持続可能な開発目標」) は、2015年9月の国連総会において、193の加盟国により全会一致で採択された2030年までに達成すべき17の目標です。「木が好きな人を育てる活動」である木育は、対象年齢や活動内容に制限がない自由度の高い取組であるとともに、森林や環境にまつわる問題を自ら発見し、自ら解決する活動として捉えらる点や、企業、自治体、教育機関、住民等の多様な人々の力を合わせて取り組む点から、SDGs推進にも密着していくものと考えられます。今回は、各地域での様々なセクターによる木育実践事例をもとに、SDGs推進に向けたビジョンを話し合います。

青木 高輔 (株式会社東京エネソーズ)
 田口 浩樹 (熊本大学)
 多田 啓 (株式会社アサモク) / 他



2/20

企画③ 13:00～14:30

子どもを中心に木育を考える
 ～コミュニティにおける木育の役割～

木の家で暮らす、木の物を使う、木のおもちゃで遊ぶ、樹や木を通して繋がりを持つ等、様々な場面において木育には多様な在り方が考えられます。また、木育は子どもを中心に親、地域、幼保育園や学校、企業など色々な場面を繋げ日常のいたるところにあるとも言えます。ここではまずは子どもにも焦点をあて、そこから地域や学校、企業などを巻き込んで木育がどう展開されているのか考えます。これから木育をはじめようとしている方にとっては「最初の一步」をどう踏み出せばいいのか、誰と手をつないで活動を進めればいいのか、そのヒント満載の企画です。

一條 達雄 (一條ランバニ株式会社)
 松崎 美穂子 (NPO法人 子育て支援ネットワークとくしま) / 他

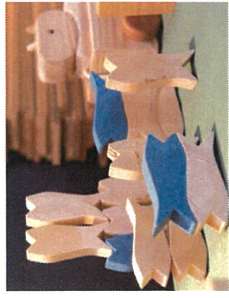


企画④ 13:00～15:00

デザイン視点で考える木育普及の可能性

ライフスタイルや働き方の考え方が変わる今、暮らしや働く場に木を取り入れる事例が増えています。木を素材として扱うデザイナーや、オフィスなど様々な空間の木質化に取り組み企業など、新しい木材活用事例から、今の社会において再認識される木の良さ考えます。モノ・環境を作る人の視点から見える木の良さや各事例の課題点や工夫を共有することで、異なる分野の人間士がともに木育に取り組むためのヒントを探り、木育活動をより大きなムーブメントに発展させるきっかけを考えます。

大谷 岳 (東京学芸大学大学院) / 小島 勇 (株式会社イトーキ)
 水谷 伸吉 (一般社団法人more trees) / 他



企画⑤ 15:30～16:30

「儲かる」木育
 ～「花巻おもちゃ美術館」の挑戦～

地方都市における「人口減少」「地域経済の停滞」「林業林産業の衰退」など様々な地域課題解決のために、民間活力を導入しながら、木育の視点から、その課題をどう解決することができるのか、「花巻おもちゃ美術館」の事例を元に、その可能性を探ります。花巻おもちゃ美術館は、閉店した地域経済の要であった「マルカイン百貨店」の再生の中で、地元の小友木材店が中心となって取り組んできました。その設立の過程や方法、日々の取組について報告をいただき、地域を元気にし、かつ「儲かる」木育のあり方について考えます。

小友 康広 (小友木材店)・平野 裕幸 (花巻おもちゃ美術館)
 木下 斉 (まちビジネス起業家) / 山下 晃功 (高根大学)
 進行役: 馬場 清 (芸術と遊び創造協会)

